

表 3-1 測定結果一覧

		No.1 立鳥 汲井谷溜池 付近	No.2 山根 (株)TKソリューション 埋立地 付近	No.3 山根 (株)GROW UP 埋立地下溜池 付近	No.4 高山 高山大橋 付近	No.5 鎌谷 天王橋 付近	No.6 長柄山 ミルフィーユゴルフ クラブ裏 付近	No.7 榎本 日栄橋 付近	No.8 力丸 力丸水門 付近	No.9 国府里 一の橋 付近	基準値※
採水日		令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	令和6年11月7日	
現場測定項目	採取時間	—	12:21	10:36	9:39	11:46	12:06	11:10	9:10	10:04	10:20
	天候	—	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
	気温	℃	17.8	17.3	16.6	16.5	17.4	16.4	16.5	17.1	16.9
	水温	℃	16.4	15.2	16.1	15.0	15.5	19.9	15.4	15.1	14.4
	透視度	cm	15.8	>30.0	>30.0	>30.0	>30.0	>30.0	>30.0	>30.0	>30.0
	色相	—	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	
	臭気	—	土臭	土臭	土臭	土臭	土臭	土臭	土臭	土臭	
	流量	m ³ /s	—	0.05	—	0.02	0.44	0.09	0.39	0.12	0.11
生活環境の保全に関する環境基準項目	水素イオン濃度(pH)	—	7.4	8.0	7.8	7.9	7.8	8.2	7.8	7.7	7.9
	pH 水温	℃	25.0	24.9	24.9	25.0	25.0	24.9	24.9	25.0	25.0
	溶存酸素(DO)	mg/L	8.7	8.7	7.4	9.0	8.9	8.4	8.5	8.6	9.3
	生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	3.5	0.8	1.6	0.5	0.7	0.5	0.7	0.5	1.0
	化学的酸素要求量(COD)	mg/L	12	4.9	7.0	7.1	6.1	4.6	6.1	6.5	4.8
	浮遊物質量(SS)	mg/L	24	3	9	6	4	2	5	2	5
	大腸菌数	CFU/100mL	920	1300	35	160	750	790	670	110	930
	全窒素	mg/L	1.6	1.6	0.98	1.1	1.5	2.2	1.3	1.6	1.9
	全りん	mg/L	0.068	0.073	0.027	0.10	0.13	0.087	0.14	0.13	0.13
	カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003mg/L 以下
人の健康の保護に関する環境基準項目	全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと
	鉛	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01mg/L 以下
	六価クロム	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02mg/L 以下
	砒素	mg/L	0.001	0.001	0.003	0.002	0.002	<0.001	0.002	0.002	0.01mg/L 以下
	総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005mg/L 以下
	アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと
	ふつ素	mg/L	<0.08	0.17	<0.08	0.10	0.11	<0.08	0.10	0.15	0.11
	ほう素	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1 mg/L 以下

※ 昭和46年12月28日 環境庁告示59号 「水質汚濁に係る環境基準について」別表1 人の健康の保護に関する環境基準及び、別表2 生活環境の保全に関する環境基準

網掛け数値は基準値超過を示す。ただし、化学的酸素要求量(COD)については湖沼B類型を、全窒素、全りんについては湖沼II類型の基準値で評価した。